



いの だより

令和4年【発行日】2022年4月22日【金】

【発行所】井野まちづくりセンター

〒699-3301 浜田市三隅町井野へ 1816-2

TEL 34-0007 ・ FAX34-0038

Eメール：ino-k@ofc.herecall.jp

タイトルイラストの無許可の転載、複製、転用等のご遠慮ください。

井野連合自治会解散にあたって

この度井野連合自治会は、令和4年3月31日を持って解散致しました。歴代の会長様には多面に渡り色々ご助言を頂き、お礼を申し上げます。

私なりに連合自治会を回想してみますと、私は昭和43年に井野に来ました。あれから54年が経過しようとしています。当時大口の集落には25戸の家がありましたが、現在は5戸5人の住民が生活しておられます。これも二度の水害など生活環境の変化によるものでどうにもならない事です。特に昭和58年の水害では、道路も寸断して車の出入りが出来ない状態に至り、当時連合自治会長の三浦和男さんが被害状況を見に来て頂いた事を思い出します。災害で落ち込んでいる井野の元気を取り戻すべく農業を活かした

「農業祭り」、県道改良促進期成同盟を立ち上げ、陳情活動資金の確保に向けて「村おこし芸能まつり」を開催して活性化に取り組んで来られました。その他にも団結力を見せるべく市議会議員選挙の取り組み等歴代の会長様には大変な努力をして頂いた事に感謝申し上げます。

解散に至った経緯について述べますと、平成13年に井野中学校の跡地利用として井野公民館が会館いたしました。生涯学習などの公民館活動や井野連合自治会の活動拠点として利用して来ましたが、浜田市の施策として、自治区制度を廃止して「浜田市協働のまちづくり」が発足し、昨年4月より井野公民館も「井野まちづくりセンター」と改名され、住民主体のまちづくり事業に移行していくことが見えてきた次第です。

これまでも井野連合自治会と、まちづくり推進委員会との両立で役員の選出、事業の取り組みなど諸問題が積みあがってきたところです。その様な事情があつて、一昨年より三役会で協議して、今回の解散に踏み切った次第です。これからも自治会活動は何ら変わる事はなく、まちづくり推進委員会と協働の元、井野の活性化に取り組んで活動してもらいたいと思います。

令和4年4月1日

山本兼文



《5月の井野っ地号運行事案内》

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

3月の井野っ地号の利用状況

稼働日数：19日

運行便数：56便

延べ利用人数：77人

3月末日現在の利用登録者数

193人

(施設等入所者を含む)

予約専用 070-3772-4165

予約受付時間は、平日（月曜日～金曜日）の午前9時～午後5時までです。この時間帯以外は、電話はつながりませんので、ご注意ください。

井野地区の世帯数・人口・高齢化率 (令和4年1月末現在)

世帯数：334世帯

人口：628人

高齢化率：60.03%

(引用：浜田市HPより)

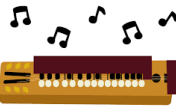
今月のいのまる広場は **5月10日(火)**

に開催します。

もち米・野菜の
販売予定

大正琴教室の演奏会

があります。



今月の百歳体操は
17日(火)です

「いのまる広場」開催予定日

月	日	曜日	時間
6月	7日	火	10:00~11:30
7月	5日	火	10:00~11:30
8月	2日	火	10:00~11:30

毎月第3火曜日の10時から
百歳体操をやっています。



移動図書館車ラブック号来日

令和4年5月26日【木】

14時～14時30分

都合により変更になる場合があります。

ご了承ください。

旧敬老福祉乗車券の有効期限が一年間延長になりました。

令和5年(2023年)3月31日まで

使用できます。



紫色の用紙です

No.

浜田市敬老福祉乗車券
500円券 (6枚綴り)

【利用者氏名】 見 本

【有効期限】
令和4年 3月31日

発行者 浜田市長

※表紙は切り離さないでください。
※ご利用の際は、運転手にこの表紙を提示してください。
この乗車券は、浜田市へのふるさと寄附金を財源にしています。



黄色の用紙です

No.

浜田市敬老福祉乗車券
100円券 (30枚綴り)

【利用者氏名】 見 本

【有効期限】
2022年 3月31日

発行者 浜田市長

※表紙は切り離さないでください。
※ご利用の際は、運転手にこの表紙を提示してください。
この乗車券は、浜田市へのふるさと寄附金を財源にしています。

令和4年3月25日に「つなぐ棚田遺産」の認定式があり、地元の両谷連合自治会長と三浦和成さんが出席されました。



私たちの地域の宝、小学校5年生の竹下里依奈さんとこの度、スイートコーンの種まきを一緒にしました。

種まきから発芽・管理・収穫へ、次世代と一緒に取り組む活動です。

(住民投稿)



- 桜貝や車椅子にも感謝して
- 名を呼ばれ「はい」と言えたり入学す
- 愛らしく崖で細腕山つつじ
- ランドセル肩をいからず一年生
- 猫の声猫語となりぬ春の宵

池畔句会 4月作品

順 由 幸 さ 信
治 紀 紀 子 とし 子
江 江 子

生涯学習情報

- 大正琴教室
5月10日(火) 10時00分～
いのまる広場で演奏会
- 俳句教室
5月12日(木) 9時30分～
- 草木染め教室
5月13日(金) 9時30分～
- 手話教室
5月16日(月) 9時30分～
- 茶道教室
5月16日(月) 9時30分～
- 農業教室
5月19日(木) 9時30分～
- 華道教室
5月19日(木) 13時30分～
- ガーデニング教室
5月20日(金) 9時00分～

～コミナスコラム～

文責：本多瑠美子（まちづくりコーディネーター）

「声を出して笑っていますか？」

コロナ禍のいま、大声で笑う機会はずいぶん減ってしまったのではないのでしょうか。

声を出して大きく笑うことは、免疫力向上も期待でき、ウイルス感染を防いだり悪い細胞を攻撃したりして病気の進行を防ぐ、NK（ナチュラルキラー）細胞が活性化することが分かっています。また、血圧上昇を抑制したり、自律神経のバランスが整う効果も期待できると考えられているそうです。

つまり、積極的に声を出して笑うことで、身体的にも心理的にも、健康長寿によい影響を与えているといわれています。

テレビを見たり人と話して笑うことだけでなく、鏡を見て笑顔の練習でも同様の効果が期待できるので、飛沫に注意しながらマスクの下でも、「笑う」ことに今一度意識を向けてみませんか(^^)/♪